

平成24年11月(2012年) No.563

## ビデオ映像コンテスト応募のお薦め

会長 合原一夫

今年1月29日に行われた第23回丹波篠山ビデオ大賞決勝大会で、見事グランプリに選ばれた当会 前田茂夫さん「炎に挑む」の感激が今も強く残っています。作者もこれで自信が益々涌いたことでしょう。

その丹波篠山全国コンの担当事務局からお電話があつて、出品の呼びかけがありました。前田氏の話によるとこのところ応募作が少なく、このままだとコンテスト自体中止の可能性もあるのではないかとということで、主催者として、多くの方に呼びかけられるのでしょうか。

彩の国埼玉全国コンも中止となりました。こちらも経費と手間の割に応募者が増えず課題も多かったと推定されますが、丹波篠山と共にハイレベルなコンテストとして注目されてきただけに、何とか盛り上げて今後も継続して行ってほしいものでした。彩の国埼玉全国コンを引継ぐ形で、春日部ビデオフェスティバル全国映像コンが新発足したのはよろこばしい限りです。このコンテストが一地方だけのものになるか、全国のアマチュア映像人たちの入賞目標にまで育つかは、今後の応募者次第となるでしょう。

東京アマチュア映像祭全国コンは現在も続いており、恐らく来年も続くことでしょう。これは東京アマチュア映像連盟主催ですが運営上いろいろと課題があるようですが、全国からの多数の応募がないと、お世話する方も張り合いが無いでしょう。中止にならないことを祈るばかりです。

コンテストに出すには、主催者のニーズ、制限時間等、守らなければならない条件がありますが、テーマを絞る、何を訴えたいか等、はっきりさせなければなりません。その分勉強になります。受賞するかどうかは別にして、大いにコンテストに応募しては如何でしょうか。

(丹波篠山ビデオ大賞コンテスト締切は11月30日です。)

### 11月例会のお知らせ

11月例会は第4土曜日24日18時より。難波市民学習センター(JR難波OCATビル4階)にて開催します。気温も下がってきましたが、会場は暖房が入れている筈です。どうぞ例会にお出掛け下さい。作品の方もお持ち下さい。2次会共ども楽しく過ごしましょう。

## 第16回大阪アマチュア

### 映像祭、盛会にて無事終了

去る11月4日(日曜日)午後に行われた大阪アマチュア映像祭は、お天気にも恵まれ、予想以上の観客動員があり盛会でした。共催して頂いている大阪市立図書館の方もびっくりしておられるほどの盛り上がりで、明るい画面の大映写で観客の皆さんも満足されたことでしょう。

作品の内容もまずまずの出来映えの様に思いましたが、全国コンのグランプリをねらう様な優れた作品は残念ながら見当たらなかったように思います。ですが、大中小、いろんなクラブでそれぞれが映像づくりを楽しんでおられることが伺えました。とにかく元気で作品をつくる、そして楽しむということがまずは各クラブの会員さんにとって最も大切なことと思います。(合原)

#### ■予告(1)

12月例会は通常と同様第4土曜22日18時より開催。同日は13時より幹事会15時より世話役を開催、予定しておいて下さい。

#### ■予告(2)

・1月例会は第2日曜13日13時より開催、例会終了後総会を行います。夜は恒例により新年会開催。日時が変わりますのでお間違いないように予定しておいて下さい。

#### ■会員名簿の追加修正

##### ・森田光晴さん

E-mail mitsuharu@sky.plala.or.jp  
TEL 06-6719-6808

##### ・蟹江利一さん

E-mail kanie@pearl.ocn.ne.jp  
携帯 090-7098-7364

よろしくお願ひします。

### 10月例会のレポート

例会ごとに季節の移り変わりがはっきりと意識されます。さすが10月例会ともなると朝夕めっきり冷え込む季節となりました。行楽の秋、文化の秋で各地で行事が華やかですが撮影のチャンスが多い季節です。旅でもされているのか例会出席もやや少なく、作品数も少なめでした。この減少傾向が続きますと先行きが暗くなります

が、一時的な現象と思いたいです。今月は10分を越す作品が多く時間一杯の上映でした。今月の司会は上田氏、書記、宮井氏、上映担当は河合、井上、江村(録画)の3氏、受付兼照明係は宮崎、華岡の各氏で行。

■出席者：有村、井上、上田、江村、岡本、上総、紙本、河合、黒田、合原、進藤、関、高橋、華岡、前田、宮井、宮崎、森口、森下、森田、吉岡の21氏(敬称略)

■上映作品(今月の講評は宮井世話役です)

#### 1、白馬山麓の散策(BD)

有村 博さん 8分54秒

お若い時から山が大好きな作者ご夫妻。白馬山麓散策ツアーに参加されました。1日目はロープウェイとリフトで地蔵頭に到着。快晴に恵まれ山頂から五竜岳をはじめ素晴らしい山並みが眺望出来ました。この日は午後3時からだったので、2日目の観光がツアーのメインになります。2日目は梅池自然公園の散策です。この日もロープウェイに乗り目的地に着きます。5時間も自由行動が出来るのが、このツアーの良い所とナレーション。撮影には、たっぷり時間があります。ただ曇り空が残念でしたね。高層湿原なので木道が敷かれていました。花はあまり無く、やむなく枯葉のアップや枯れたアザミの花のアップが撮影されています。しっとりとした美しい秋の風景が、展開して静かなBGMと相まって癒しの作品になりました。作者ご夫妻は至福の時間を過ごされたと思います。

#### 2、忍(おし)の浮き城(BD)

紙本 勝さん 10分50秒

今、公開されている映画「のぼうの城」を先取りしたような作品です。石田三成が2万3000の軍勢で忍城を攻めるが、たった500の城兵で守りきった奇跡の物語。本当に痛快な話ですね。忍城は沼や池の中に作った城で守りやすく攻め難い。忍城の總大将は成田長親で「でくのぼう」と呼ばれていたそうですが、領民には「のぼう様」と呼ばれ尊敬されていたようです。作品の構成は膨大で秀吉の小田原城攻めから始まり忍城の攻撃に至るまでの経緯を可能な限

りの資料映像や、高度なパソコン編集を駆使して作られています。そして豊富な知識に基づくナレーションは解りやすく面白くて、作品の世界に入りこめました。作者は普段から歴史小説などを沢山読まれていると思います。いつも素晴らしい作品を見せていただいで勉強になります。

### 3、ちょっと和歌山城へ (BD)

宮井 健さん 8分20秒

和歌山市に近い地の理を生かし快晴の日曜日に撮影しました。城は昭和 20 年 7 月の空襲で焼け、昭和 33 年に鉄骨ながら昔の姿で復元されました。手振れ補正の設定を入りにしていたので、パンニングの時、止めた所から戻ってきて失敗です。会員の岡本さんが、今年 11 月 17 日に開催される田辺市生涯学習フェスバル協賛の 16 回・ビデオ映像祭に、この作品を貸してほしいと言われ、それならば、もう一度撮影に出かけ再編集しようと思います。

### 4、宇出津 (うしつ) のキリコ祭・前篇 宵宮 (HDV) 河合源七郎さん 8分5秒

能登のキリコ祭りを撮り続けておられる作者の 9 作目です。七尾湾に面した宇出津町は天然の良港に恵まれた漁師町。氏神に酒垂神社と白山神社があったが、350 年前に悪病が流行り、京都祇園会の八坂神社から分祀した八坂神社の祭りです。宇出津のキリコ祭りは 40 数台のキリコが集結。1 基の担ぎ手は 40 人～50 人くらいでしょうか。その中に若い女性 (ギャル) の姿もあります。宵宮なので、夜がハイライトです。キリコに灯が入り、40 数台が波止場に集結します。海面に映るキリコのロングの映像が美しい。午後 9 時になるとお祭り広場に「巨大たいまつ」が点火され、赤々と燃え上がり、火の粉を浴びながら 40 台のキリコが威勢よく練り歩く光景は圧巻です。BGMは使われていません。現場音だけです。あるほうが良いのか、無いほうが良いのか筆者には解りません。とにかく素晴らしい映像です。キリコには神様が不在のようです。神様の登場は本祭りの後編です。

### 5、よさこい神戸2012 (BD)

井上勝彦さん 6分12秒

神戸で開催の「よさこい」を撮影されました。3Dカメラで撮影されているので、3Dで再生されてこそ正しい講評が出来ますが、2D再生だと、印象が変わってきます。作品は若い男女チームの一つだけの踊りで作られています。スローや残像の効果のエフェクトを使っています。撮影場所がかなり端の方なのが残念でしたね。構図も上部に要らないものが入っています。いつもフレームいっぱいに入物を入るカメラ撮りが必要だと思います。音も効果が出ていません。しかし作者の挑戦は素晴らしいです。次回に期待しています。

### 6、鬼追い (BD)

江村一郎さん 6分

八尾天満宮の節分の神事を撮影されました。八尾市に住んでおられる作者には身近な素材ですね。冒頭に夜の天満宮境内の風景があって、神殿内の神事の様子が撮影されています。神官がお祓いをする背後に、神妙に座っている鬼や鬼追い神。このあと豆撒きがあり、鬼たちが暴れます。それに対抗する天狗。ここまでのシーンになるまで、いくつかの人の顔アップが随所に出ます。焚火の灯りの中に参拝客や鬼、鬼追い神が入り乱れ、迫力ある映像と巧みなカットつなぎで魅了します。鬼が親に抱かれた子供たちに「ワーア！」と言って脅かす。そして子どもが泣きき叫ぶのがアップで撮られています。ちなみに顔のアップは60カットありました。作者独特のカメラ撮りと編集は他の追隨を許しません。司会者も映写後「何を撮っても江村流ですね」と言われました。

### 7、タナロット寺院 (BD)

華岡 汪さん 6分54秒

タナロット寺院はインドネシア・バリ島にある岩礁の小さい島に建てられています。島には干潮の時しか渡れません。しかし寺院まで行けるのは信者だけのようです。観光客は海岸にある洞窟まで行くことが出来ます。寺院がある島の周りにも岩が有り、訪れた人は波が洗う岩場で遊んでいます。丁度お祭りが行われていて、寺院を離れて見ながら、楽しんでる光景が撮影

されています。作者は丁寧に、いろんなショットを撮影されていて環境や状況がよくわかる作品になっています。

## 8、祇園祭神輿渡御 (BD)

進藤信男さん 17分30秒

7月17日の山鉾巡行が終わったあとに神輿渡御が行われます。祇園祭のハイライトです。御真榊行列のカットのあと、神殿から中御座神輿がお出ましです。主祭神の「スサノオ尊」をお祀りしています。御神宝行列のあと、東御座神輿がお出ましです。スサノオ尊の妃神・櫛稲田姫命をお祀りしています。次の西御座神輿はスサノオ尊の御子神・八柱御子神をお祀りしています。八坂神社を出た神輿は西楼門下に勢ぞろいします。神官により神輿と各神輿会の紹介があります。そして神輿は祇園花小路に入ってきます。芸鼓たちが缶ビールやジュースで、もてなしています。夜のとばりが降りて3基の神輿は四條寺町の御旅所に向かいます。お旅所には17日から24日まで七日七夜お泊りします。そして7月24日の還幸祭になります。3基の神輿は八坂神社に帰ります。午後4時に出発して終わったのは午前零時になりました。作者は熱意ある撮影で見応えのある作品に仕上げられ、貴重な記録になった力作です。

## 9、水神を祀る (BD)

森口吉正さん 11分50秒

奈良県の室生龍穴神社の神事を撮影されました。室生龍穴神社は室生寺より古くからあります。水の神の龍神を祀っています。後で建てられた室生寺が龍穴神社の神宮寺と呼ばれているそうです。作者特有の名調子のナレーションで室生龍穴神社が建つ周辺の風景が紹介されます。そして龍神が住むといわれる吉祥龍穴にカメラは辿りつきます。大きな穴が奥まで続いていて、昔の人達は龍神が住んでいると思った事は理解出来ます。そして女人高野と呼ばれている室生寺の映像になります。10月14日、ここから1キロほど離れた龍穴神社までお渡の神事があります。出発の前に獅子舞が奉納されたあと、お渡の行列が室生川に沿った道を進んで行きます。作者は先回りして

遠くから曲がった川の向こう側の行列を撮影されています。龍穴神社に着いた一行は参拝して、獅子舞を奉納します。

獅子舞は4頭で、囃子方は小学生の女子が7人、笛が2人、太鼓が4人、鈴が1人の構成です。比較的、広い境内には見物客は少ないです。獅子舞も神社独特の舞で、地元の人達が伝統を受け継いできたのでしょう。室生寺の近くにこの神社があるのを初めて知りました。勉強になりました。

## 10、SLの詩 (DV)

高瀬辰雄さん 11分

8ミリフィルムで撮影された作品です。あえてモノクロ・フィルムを使用されました。京都・梅小路蒸気機関車館でのイベントで撮影されたものが7割、3割がSLの走る映像になっています。始めに動態保存しているSLの部品を解体整備している時のカットがあります。大きな動輪を4人で押していました。釜に火が入り、機関車に命がよみがえります。煙を吐く煙突、配管から吐き出す蒸気、機関車の1部分をアップで撮影されています。BGMはピアノ曲・悲愴を使用しています。機関車が車庫から出てきて動きます。それを見る見学の人々のアップ、作者のカメラワークのセンスの好さを感じるカットが続きます。後半はSLが走る映像になります。少し雪のある風景の中を行くカットは能登半島で撮影されたようです。作者もSLファンだったのでですね。

## 11、古道幻影 (DV)

関剛さん 14分

11年前のOMCの撮影会作品です。脚本・演出は作者。当日は演技と撮影の指導を担当されたので、この作品の映像は他の人が撮影されたものです。出演者は竹中友美さん。旅する若い女性と和泉式部の二役です。そして上富田町役場の皆さん。OMC会員たちです。余白が少ないので内容は省略しますが、シナリオと撮影コンテが綿密に作られているので、見事な構成で完成度の高いプロのような作品になっています。一カ所のカットで仲間のカメラマンが映っていたのが残念です。